

- (2) 予防接種を受けることができない人
- ① 明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
 - ② 重い急性疾患にかかっている人
 - ③ インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、アナフィラキシー（急性の過敏反応）を起こしたことがある人
 - ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合
- (3) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人
- ① 心臓病、腎臓（じんぞう）病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
 - ② 前にインフルエンザの予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹（ほっしん）じんましんなどアレルギーを思わす異常がみられた人
 - ③ 今までにけいれんを起こしたことがある人
 - ④ 今までに中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
 - ⑤ インフルエンザ予防接種の成分又は鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあるといわれたことがある人
- (4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項
- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
 - ② インフルエンザワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
 - ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
 - ④ 接種当日は、いつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

4. その他

予防接種を受けた後、まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に、ほかの病気がたまたま重なって現れることがあります。予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどくはれたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら、医師（医療機関）の診察を受けてください。そのほか、分からない時は下記へお問い合わせください。

<お問い合わせ> 熱海市役所 健康づくり室 電話 0557-86-6296